



2022年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年12月13日

上場会社名 株式会社SKIYAKI 上場取引所 東
 コード番号 3995 URL <https://skiyaki.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小久保 知洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 酒井 真也 TEL 03 (5428) 8378
 四半期報告書提出予定日 2021年12月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第3四半期の連結業績（2021年2月1日～2021年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第3四半期	3,616	△2.2	35	△77.6	0	△99.8	45	△33.1
2021年1月期第3四半期	3,698	4.1	160	83.7	147	80.9	67	68.5

(注) 包括利益 2022年1月期第3四半期 50百万円 (8.6%) 2021年1月期第3四半期 46百万円 (36.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第3四半期	4.21	4.20
2021年1月期第3四半期	6.31	6.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第3四半期	3,379	1,090	32.0
2021年1月期	3,995	985	24.5

(参考) 自己資本 2022年1月期第3四半期 1,082百万円 2021年1月期 977百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年1月期	—	0.00	—	—	—
2022年1月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年1月期の連結業績予想（2021年2月1日～2022年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,874	△1.0	45	△64.5	12	△83.4	55	—	5.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年1月期3Q	10,750,500株	2021年1月期	10,725,500株
② 期末自己株式数	2022年1月期3Q	8,038株	2021年1月期	8,038株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年1月期3Q	10,731,889株	2021年1月期3Q	10,706,296株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により依然として厳しい状況が続いており、未だ収束の見通しも立っておらず、今後の動向は極めて不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、アーティストに係るファンクラブ（以下「FC」という。）サービス、アーティストグッズ等のECサービス及びオープン型プラットフォームである「Bitfan」の取り扱いアーティスト数並びに提供サービス数の増加により、取引規模を堅調に拡大させて参りました。これらの事業展開により、2021年10月末日現在における当社グループが提供するプラットフォームの総登録会員数は、423.7万人（前年同四半期比16.6%増）となりました。また、総登録会員数のうち有料会員数は、89.6万人（同7.6%増）となっております。

プラットフォーム事業については、FCサービスの有料会員数が堅調に増加したことに加え、アーティストのイベント制作に係る売上をスポットで計上したこと等により、ECサービスの売上高が前年同四半期比で33.1%減少した影響をカバーし、売上高は同0.8%増加とほぼ前年同期並みで着地しました。

020事業については、第2四半期連結会計期間における株式会社SKIYAKI LIVE PRODUCTION株式の一部譲渡に伴い、同社が連結の範囲から除外され持分法適用関連会社となった影響により、同事業セグメントの売上高及びセグメント損益は第2四半期連結会計期間と同様にゼロとなりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,616,01千円（前年同四半期比2.2%減）、営業利益35,962千円（同77.6%減）、経常利益310千円（同99.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益45,220千円（同33.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①プラットフォーム事業

FCサービスは、有料会員より毎月又は毎年受領するファンクラブ会費を売上高に計上するストック型ビジネスであり、安定的かつ継続的な収入が見込まれるという特性を有しております。当第3四半期連結累計期間においては、サービス数及び有料会員数の増加により、FCサービスの売上高は2,766,479千円（前年同四半期比12.6%増）となりました。なお、FCサービスは、売上高を総額計上しております。当該売上高の増加に伴い、プロダクション向けロイヤリティ（売上原価）及び決済代行会社向け回収手数料（販売費及び一般管理費）等の変動費が増加しました。

ECサービスは、アーティストによるツアー実施等の活動の有無により商品の出荷時期及び出荷金額が大きく変動する特性があり、ストック型ビジネスであるFCサービスと比較して、四半期ごとの売上高の変動性が大きくなる傾向にあります。当第3四半期連結累計期間においては、前年同四半期においてアーティストグッズ等のオンラインでの販売が非常に好調であったことの反動減により、ECサービスの売上高は623,918千円（同33.1%減）となりました。なお、ECサービスは、当社が受領する販売手数料収入を売上高として純額計上しております。

その他の売上高は、SKIYAKI TICKET、オープン型のBitfan等のサービス提供、アーティストのイベント制作、その他上記に含まれないサービスに係るシステム提供及び運営業務受託等により、127,733千円（同26.9%増）となりました。

その他、人員増及び昇給に伴う人件費の増加に加え、アーティストの権利獲得に係るライセンス費用の発生等により、売上原価並びに販売費及び一般管理費が増加しました。

この結果、売上高3,518,131千円（同0.8%増）、セグメント利益63,075千円（同78.5%減）となりました。

②020事業

020事業は、その事業の一部としてライブ・コンサート制作を行っているため、アーティストによるコンサートやツアーの実施時期により売上高が大きく変動する特性があり、ECサービスと同様に、四半期ごとの売上高の変動性が大きくなる傾向にあります。

当第3四半期連結累計期間は、020事業を展開する株式会社SKIYAKI LIVE PRODUCTIONの株式の一部譲渡に伴い、第2四半期連結会計期間において020事業を主要な事業から除外した影響により、売上高は73,386千円（同60.2%減）となりました。

セグメント損益は、ライブ制作原価及び人件費を中心とした販売費及び一般管理費を控除した結果、セグメント損失△12,686千円（前年同四半期はセグメント損失△119,366千円）となりました。

③その他事業

その他事業は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社である株式会社ロックガレージにおける旅行・ツアー事業、株式会社SEA Globalにおけるスポーツマーケティング事業、SKIYAKI 65 Pte. Ltd.（シンガポール）及びSKIYAKI 82 Inc.（韓国）の2社が行う海外におけるプラットフォーム事業等であります。

当第3四半期連結累計期間は、COVID-19の影響によるファンクラブ旅行の自粛等による旅行パッケージ販売収入の減少、自社メディアの広告収入及びスポーツコンサルティング収入等の減少に加え、人件費を中心とした先行投資費用の発生により、販売費及び一般管理費が増加しました。

この結果、売上高25,083千円（同1.4%減）、セグメント損失△18,513千円（前年同四半期はセグメント損失△34,009千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は3,379,801千円となり、前連結会計年度末に比べ615,782千円減少しました。

流動資産については、現金及び預金の減少911,471千円、売掛金の減少61,121千円、前払費用（主にプロダクション等へ支払う前払ロイヤリティ及びサーバー費用等）の増加83,623千円等により、前連結会計年度末に比べ862,863千円減少し、2,872,386千円となりました。

固定資産については、有形固定資産が12,213千円、無形固定資産が182,896千円、投資その他の資産が312,304千円となり、前連結会計年度末に比べ247,080千円増加し、507,415千円となりました。これは主に、アーティストの権利取得による無形固定資産の増加171,161千円、長期前払費用の増加62,540千円、繰延税金資産の増加46,360千円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、2,289,076千円と前連結会計年度末に比べ720,596千円減少しました。

流動負債については、買掛金の増加7,787千円、未払法人税等の減少79,841千円、預り金の減少307,980千円、役員退職慰労引当金の減少70,000千円等により、前連結会計年度末に比べ478,593千円減少し、2,074,720千円となりました。

固定負債については、長期借入金の減少233,989千円等により、前連結会計年度末に比べ242,002千円減少し、214,355千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ104,813千円増加し、1,090,725千円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加45,220千円、子会社株式の一部売却に伴う連結子会社の減少による利益剰余金の増加40,330千円、在外連結子会社に係る為替換算調整勘定の増加5,800千円、譲渡制限付株式の発行による資本金及び資本準備金の増加11,250千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第3四半期連結累計期間における連結業績が概ね計画どおりに進捗していることから、2021年9月13日の「2022年1月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,425,222	1,513,750
売掛金	597,458	536,336
商品	472	1,217
前払費用	467,017	550,640
その他	245,275	270,638
貸倒引当金	△196	△197
流動資産合計	3,735,249	2,872,386
固定資産		
有形固定資産	40,094	12,213
無形固定資産	11,734	182,896
投資その他の資産		
投資その他の資産	269,487	342,014
貸倒引当金	△60,982	△29,709
投資その他の資産合計	208,504	312,304
固定資産合計	260,334	507,415
資産合計	3,995,583	3,379,801
負債の部		
流動負債		
買掛金	509,638	517,425
1年内返済予定の長期借入金	149,532	149,532
未払法人税等	79,841	—
預り金	986,517	678,537
前受収益	522,607	565,294
役員退職慰労引当金	70,000	—
その他	235,176	163,930
流動負債合計	2,553,314	2,074,720
固定負債		
長期借入金	448,345	214,355
その他	8,012	—
固定負債合計	456,358	214,355
負債合計	3,009,672	2,289,076
純資産の部		
株主資本		
資本金	582,714	588,339
資本剰余金	554,190	562,309
利益剰余金	△158,633	△73,082
自己株式	△346	△346
株主資本合計	977,924	1,077,219
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△316	5,484
その他の包括利益累計額合計	△316	5,484
非支配株主持分	8,302	8,021
純資産合計	985,911	1,090,725
負債純資産合計	3,995,583	3,379,801

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)
売上高	3,698,339	3,616,601
売上原価	2,427,736	2,504,533
売上総利益	1,270,602	1,112,067
販売費及び一般管理費	1,110,076	1,076,105
営業利益	160,525	35,962
営業外収益		
受取利息及び配当金	33	189
受取家賃	15,767	8,289
受取補償金	6,000	—
その他	867	1,445
営業外収益合計	22,668	9,924
営業外費用		
支払利息	5,357	2,632
持分法による投資損失	28,388	17,521
貸倒引当金繰入額	—	24,040
その他	1,711	1,381
営業外費用合計	35,458	45,576
経常利益	147,736	310
特別利益		
関係会社株式売却益	—	45,867
特別利益合計	—	45,867
特別損失		
減損損失	—	35,876
事務所移転費用	—	9,318
特別損失合計	—	45,194
税金等調整前四半期純利益	147,736	983
法人税、住民税及び事業税	105,052	2,405
法人税等調整額	△4,187	△46,360
法人税等合計	100,864	△43,955
四半期純利益	46,871	44,938
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△20,716	△281
親会社株主に帰属する四半期純利益	67,587	45,220

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)
四半期純利益	46,871	44,938
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△484	5,800
その他の包括利益合計	△484	5,800
四半期包括利益	46,386	50,739
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,739	51,020
非支配株主に係る四半期包括利益	△20,352	△281

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他事業 (注)	合計
	プラットフォーム事業	020事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,488,685	184,207	3,672,892	25,447	3,698,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	180	77	257	4,317	4,574
計	3,488,865	184,284	3,673,149	29,764	3,702,914
セグメント利益又は損失(△)	293,898	△119,366	174,531	△34,009	140,522

(注) 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社における旅行・ツアー事業及びスポーツマーケティング事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	174,531
その他事業の利益又は損失(△)	△34,009
セグメント間取引消去	20,003
四半期連結損益計算書の営業利益	160,525

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2021年2月1日 至 2021年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他事業 (注)	合計
	プラットフォーム事業	020事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,518,131	73,386	3,591,518	25,083	3,616,601
セグメント間の内部売上高 又は振替高	90	750	840	6,806	7,646
計	3,518,221	74,136	3,592,358	31,890	3,624,248
セグメント利益又は損失(△)	63,075	△12,686	50,388	△18,513	31,875

(注) 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社における旅行・ツアー事業及びスポーツマーケティング事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	50,388
その他事業の利益又は損失(△)	△18,513
セグメント間取引消去	4,087
四半期連結損益計算書の営業利益	35,962

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

「プラットフォーム事業」において保有する固定資産について、本社オフィスの一部解約に伴い、想定していた収益が見込めなくなった等の理由により帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。なお、回収可能価額は零として評価しており、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては35,876千円であります。